# SDS (安全データシート)

作 成 日　　2015 年　7 月　14 日
改 訂 日　　2016 年　6 月　28 日　対象製品に「No.3303EV」を追加

## 1. 製品及び会社情報

【製品名称】　GS-21、G-91 Re、No.3303EV
【会社情報】　会 社 名：　カモ井加工紙株式会社
所 在 地：　岡山県倉敷市片島町 236 番地
担当部門：　開発部
電話番号：　0866-82-9311

## 2. 危険有害性の要約

成形品のため、日本の化学物質関連法令における危険有害性分類の対象外です。

## 3. 組成及び成分情報

【単一製品・混合物の区別】　混合物

| | | |
|---|---|---|
| 基　材： | 紙　(重量　50 – 70 %) | CAS 番号　企業秘密 |
| 粘着剤： | アクリル系粘着剤　(重量　30 – 50 %) | CAS 番号　企業秘密 |
| 背面剤： | 合成樹脂混合物　(重量　0 – 10 %) | CAS 番号　企業秘密 |

## 4. 応急措置

吸入した場合：成形品のため、吸入には該当しません。
皮膚に付着した場合：接触部分に異常が見られた時は皮膚科医の手当てを受けて下さい。
目に入った場合：異常が見られた時は眼科医の手当てを受けて下さい。
飲み込んだ場合：嘔吐させた後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

## 5. 火災時の措置

消火剤：水、泡、粉末、二酸化炭素等が有効です。
使ってはならない消化剤：特にありません。
火災時の特定危険有害性：特にありません。
特定の消火方法：上記の消火剤を使用して消火して下さい。
消火を行なう者の保護（保護具等）：不完全燃焼による一酸化酸素が発生する可能性があるため、防毒マスク等の保護具を着用して下さい。

## 6. 漏出時の措置

成形品のため、漏出しません。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い：通常の使用条件では、製品からの有害物質の放出はありませんが、必要以上の粘着部への皮膚の接触を避けて下さい。
保管：特別な設備は必要としませんが、直射日光の当たる場所、極端な高温多湿下、或いは水に濡れる可能性のある場所での保管は避けて下さい。

## 8. 暴露防止及び保護措置

成形品のため、通常の使用条件では、有害物質の放出はなく、取扱者への暴露は予想されません。

## 9. 物理的及び化学的性質

【物理的性質】
形状：　ロール状テープ（テープ巻き出し後はフィルム状シート）
色：　GS-21　水色、G-91 Re　水色、No.3303EV　青色
臭い：　なし
【化学的性質】
pH：　該当なし
沸点：不明
沸騰範囲：不明
融点：不明

分解温度：不明
引火点：不明
発火点：不明
爆発限界：なし
蒸気圧：なし
蒸気密度：なし
密度：データ無し
水に対する溶解性：不溶
有機溶剤に対する溶解性：粘着剤部、背面処理部は可溶、基材は難溶
オクタノール／水分配係数：データなし
その他のデータ：特になし

## 10. 安定性及び反応性

通常条件では安定性は良好で、（化学）反応性はありません。

## 11. 有害性情報

吸入した場合：人体への影響は考えられません。
皮膚に付着した場合：人体への影響は考えられません。
目に入った場合：人体への影響は考えられません。
飲み込んだ場合：人体への影響は考えられません。

追加情報：通常の使用条件では人体への影響は考えられませんが、通常の用途外の使用においては、製品の性能に影響がでる可能性があり、健康あるいは安全における人体への影響がでる可能性もあります。

## 12. 環境影響情報

通常の使用条件では環境への影響はありません。廃棄時も各地域の関係法令に従って廃棄する限り、環境への影響は低いと考えられます。

## 13. 廃棄上の注意

各地域の関係法令に従い、産業廃棄物として処分して下さい。

## 14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物には該当しません。

## 15. 適用法令

特に該当する法令はありません。

## 16. その他の情報

本製品は成形品であり、危険・有害性情報を提供することが義務付けられた化学品あるいは化学品の混合物ではありません。
この文書は、お客様からの安全データシートの要望に応じて、JIS Z 7253 (2012) に基づいて作成しておりますが、安全データシートに要求される情報全てを記載したものではありません。
記載内容は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、用途、用法の適した安全対策を実施の上でご使用下さい。
この文書は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。記載している健康・安全に関する注意は全ての人、環境、安全、健康面への影響を網羅するものではなく、全ての材料には未知の危険有害性の存在する可能性があるため、取り扱いには十分な注意が必要です。
また、新たな知見により得られた情報は、お客様には断りなく改訂されることがあります。

記載内容の問い合わせ先　：　製造者情報欄参照